

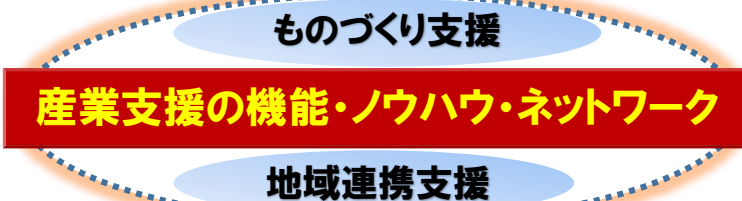


公益財団法人とかち財団 第2期産業活性化ビジョンの構成イメージ

第1期
ビジョン
検証

財団による
自己検証

～活かすべき財団の強み～



課題への
対処

「あり方検討委員会」での主な意見

～財団の役割は「付加価値創出」～

- ◆「ものづくり」を基盤に連携・販路拡大を機能強化・効率化すべき
- ◆地域のために「本当に必要な課題・ニーズ」を絞り込むべき
- ◆インバウンド・アウトバウンド促進のためのレベルアップをすべき

新ビジョン策定の視点

設置目的

農業を核とした地域産業の振興を支援することで地域産業の高度化と複合化を促進し、もって活力ある地域社会の形成に資する

社会情勢

- ・人口減少
- ・地方創生
- ・TPP
- ・海外展開
- ・観光期待
- ・IoT など

統計情報

- ～推移から見えるもの～
- ・事業所数
 - ・従業員数
 - ・農協取扱高
 - ・付加価値生産性
 - ・付加価値額 など

財団実績

- ～推移から見えるもの～
- ・相談件数・内容
 - ・共同・受託研究数・テーマ
 - ・FOODEX・FOOMA出展
 - ・十勝ブランド認証（乳製品追加）
 - ・地域連携事例件数・内容 など

第2期
ビジョン

十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を目指す
～マーケットを意識したものづくり支援～

財団
プライド

十勝に「無くてはならない」
産業支援のプラットフォーム

基本戦略

【戦略①】 入口から出口までの一貫した支援

【戦略②】 「つながり」をより広く、そして強く

取り組み姿勢

強みを活かし、自ら考え、一体的に取り組む

「地域連携」の促進・強化で、価値創出を後押し

マスター
プラン

十勝のために
『本当に必要・効果的な
課題・ニーズ』
を掴み、そして選ぶ

情報発信
・収集

ものづくり【食・機械】
技術開発力の強化

実践的な
産業人材の育成

価値創出・向上

効果的・広域的な
PR・販路拡大

「地域の結び付き」で
対応する産業支援

<十勝地域の産業活性化>

～「売れる」ものづくり、起業・事業創発～